

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	経営史特論A		担当教員	谷崎 敏昭		
	英語授業科目名	Special Lecture on Business History A		単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	特になし						
テーマ・副題	経営史の現代的意義						
授業の教育目的・目標	経営史研究の方法論を学び、日本の企業発展の過程を理解する。高いレベルの知識を得るためには、過去の経験や理論についての知識を得ることが必要である。						
授業の理解度の到達目標	現在社会で問題となっている経営学上の諸問題について、歴史を踏まえた理解が出来るようにする。						
授業キーワード	封建社会 明治維新 産業革命 財閥 企業家精神						
授業の内容	講義を行うと同時に、毎回テーマを決めてひとつの問題について話し合う。 P.F ドラッカーの視点に基づく講義である。						
授業の方法	講義と討議。院生の積極的な発言を期待している。						
授業展開	1 経営学の誕生 2 ヨーロッパにおける産業革命 3 幕末期日本の商業活動 4 封建社会体制の崩壊 5 日本の近代化と渋沢栄一 6 政商資本の企業活動 7 複式簿記の導入と三菱 8 財閥の形成			9 繊維産業の経営 10 日本の重化学工業 11 日本の産業革命 12 戦争と財閥 12 戦後の経済発展 14 オイルショックと産業構造転換 15 情報化と日本企業の動向			
成績評価方法	レポート（70%）と授業に対する貢献度（30%）で評価する。						
成績評価基準	A（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。						
テキスト	授業中に指示する。						
参考図書	授業中に指示する。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	毎回 2 時間程度、テーマに応じた文献を読み問題点を整理しておくこと。さらに研究室ホームページ上の資料を確認しておくこと。						
学生へのメッセージ	参照 <a href="http://tyit.blogspot.com/">http://tyit.blogspot.com/</a> 現代の経営を考えるためには、歴史的視点が重要である。						
オフィスアワー	木曜日 12 時 50 分～14 時 20 分						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線 5403)		メールアドレス	tanizaki@jobu.ac.jp		
人数制限	制限しない。						